

早い春の訪れ

(令和5年1月～3月)

■中央会委託事業報告

(1月17日、24日)

モデルJAの地域農業振興計画の検証結果を北農五連JA
営農サポート協議会および経営企画委員会において報告しま
した。

■北海道農産物協会委託事業研究班会議

(1月24日、2月10日)

有機農産物の流通に係る調査報告書の内容と作成スケジュール
について確認しました。

■中央会委託事業報告

(2月9日、20日)

地域農業振興計画の検証結果をモデルJAに報告しまし
た。

■せたな町農業振興計画策定支援業務

(2月10日)

せたな町農業振興計画策定委員会に出席し、提言書などを
報告しました。

■北海道農政部委託事業調査

(2月10日、14日、16日)

石狩市、月形町、栗山町において農村集落機能維持活動の
現地調査を行いました。

■自主研究に関する研究班会議

(2月15日)

コロナ禍を契機とした新しい生活様式の構築に関して、都
市と農村部の人口動態などを調査し、今後の取進めについて
打合せました。

■JAおとふけ中長期総合計画策定支援業務

(2月21日)

策定を支援した「第九次中長期総合計画」がJAの理事会
で承認され、支援業務を終了しました。

■自主研究に関する研究班会議

(2月24日)

北海道農業協同組合史に関する調査で、明治から昭和にかけての馬鈴しょ生産について情報交換しました。

■参加会の開催

(3月14日)

北農ビル一九階において、令和四年度の参加会を開催しました。

■北海道農政部委託事業報告

(2月28日)

農村集落機能維持活動事例調査結果について、委託元に報告書を提出しました。

■北海道農業公社委託事業報告

(3月15日)

新たな新規参入支援体制構築に関わる調査に関して、報告書を提出しました。

■令和四年度農業総合研修会の開催

(2月28日)

京都大学農学研究科 秋津元輝教授をお招きし、北農ビル一九階で令和四年度農業総合研修会を開催しました。講演内容は今号の「特集Ⅱ」に掲載しています。

■ホクレン委託調査事業報告

(3月15日)

てん菜作付けにおける施肥・土づくり、除草の実態調査に関して、委託元への報告を行いました。

■北海道農産物協会委託事業報告

(3月6日)

委託者に有機農産物の流通に係る調査報告書を提出しました。

■理事会の開催

(3月30日)

北農ビル一九階において令和四年度第五回理事会を開催し、事業実施結果や収支見込の報告と新年度計画などについて協議しました。

■北海道農政部委託事業報告

(3月10日)

農家負担軽減対策効果検証について、報告書を提出しました。

研究会・研修会等への報告者・講師の派遣

○「第二一八回村づくり・人づくり冬期報徳研修会」

主催 一般財団法人北海道報徳社

とき 令和5年1月30～31日

テーマ 報徳概論、二宮尊徳の思想、北海道報徳の歴史

講演 石田 健一（当研究所・常務理事）

○「二〇二二年度農業経営セミナー」

主催 J A いわみざわ地域農業振興センター

とき 令和5年2月3日

テーマ 水田活用の直接支払交付金見直しの背景と問題点

講演 坂下 明彦（当研究所・所長）

■富田氏（当研究所顧問）が学会功績賞を受賞

三月に開催された北海道農業経済学会において、当研究所顧問の富田義昭氏が「功績賞」を受賞しました。

「功績賞」は、北海道農業経済学会が学会および北海道農業・農村の発展に顕著に貢献した実績のある学会員に授与するもので、二〇二二年度に創設されました。今回、受賞の対象となった著作は『北海道野菜産地発展の軌跡』（編集：北海道野菜史研究会）です。本書は二〇二〇年一一月に刊行され、道産野菜の主要産地形成のメカニズムを経済的に分析するとともに、市場化に関連する物流を構成する要素ごとに詳細な技術的分析を行っている貴重な書籍です。富田氏は研究会のメンバーとして、本書編集のイニシアティブをとるとともに、主要な執筆者として本書をまとめ、出版に漕ぎつけており、その功績が評価されたものです。

なお、本書については、「地域と農業」第二二〇号（二〇二二年一月発行）の「書評」に紹介していますのでご覧ください。